



平成24年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成23年8月8日

上場取引所 東大

上場会社名 日本山村硝子株式会社

コード番号 5210 URL <http://www.yamamura.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長

(氏名) 山村 幸治

問合せ先責任者 (役職名) 経理部長

(氏名) 荒木 陽一

TEL 06-4300-6000

四半期報告書提出予定日 平成23年8月11日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成24年3月期第1四半期の連結業績(平成23年4月1日～平成23年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
24年3月期第1四半期	19,022	1.0	1,158	24.9	1,298	23.6	792	25.8
23年3月期第1四半期	18,826	△5.3	927	△18.8	1,050	△26.4	629	△34.7

(注) 包括利益 24年3月期第1四半期 1,159百万円 (11.8%) 23年3月期第1四半期 1,037百万円 (—%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
24年3月期第1四半期	7.54	—
23年3月期第1四半期	6.00	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
24年3月期第1四半期	96,058	51,684	53.8
23年3月期	94,722	50,894	53.7

(参考) 自己資本 24年3月期第1四半期 51,641百万円 23年3月期 50,851百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
23年3月期	—	3.00	—	3.50	6.50
24年3月期	—	—	—	—	—
24年3月期(予想)	—	3.00	—	3.00	6.00

(注) 直前に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成24年3月期の連結業績予想(平成23年4月1日～平成24年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、第2四半期(累計)は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	38,000	△1.0	1,250	△36.0	1,350	△38.2	700	△58.5	6.66
通期	75,000	3.3	2,550	△4.4	2,800	△8.6	1,600	△15.2	15.23

(注) 直前に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

4. その他

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

24年3月期1Q	111,452,494 株	23年3月期	111,452,494 株
----------	---------------	--------	---------------

② 期末自己株式数

24年3月期1Q	6,418,196 株	23年3月期	6,416,028 株
----------	-------------	--------	-------------

③ 期中平均株式数(四半期累計)

24年3月期1Q	105,035,120 株	23年3月期1Q	105,056,273 株
----------	---------------	----------	---------------

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

業務予想につきましては、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は今後様々な要因によって異なる結果となる可能性があります。

上記の予想に関連する事項は、[添付資料] 2ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(2) 連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

【添付資料】

添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	2
(2) 連結業績予想に関する定性的情報	2
2. サマリー情報（その他）に関する事項	2
3. 四半期連結財務諸表	3
(1) 四半期連結貸借対照表	3
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	5
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間	5
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間	6
(3) 継続企業の前提に関する注記	7
(4) セグメント情報等	7
(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	8
(6) 追加情報	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第1四半期連結累計期間におけるわが国経済は、東日本大震災による生産活動の低下からは比較的早期に立ち直りをみせたものの、原発事故の影響による電力不足や被災地域の産業空洞化懸念等の不確実要因により先行きに予断を許さない状況にあります。

このような中、当社グループでは山村グループ創業100周年となる2014年に向けた4ヵ年の中期経営計画の2年目を迎えております。この中期経営計画では「世界のYAMAMURAへ 一心と技術を伝えたい」のビジョンのもと、「パッケージング事業の再編と国際化」「ニューガラス事業の多角化」「新規事業とR&Dの推進」「グループコーポレート機能の強化」「人材基盤の確立」に取り組んでおります。

セグメント別の業績は、次のとおりです。

ガラスびん関連事業では、需要の低迷や、それに伴う販売価格の下落傾向が続く中、原燃料価格は上昇いたしました。セグメント売上高は9,483百万円（前年同期比1.6%減）、セグメント利益は356百万円（前年同期比1.0%減）となりました。

プラスチック容器関連事業では、東日本大震災で宇都宮工場が被災し、ペットボトル、飲料用キャップとも生産が一時停止しました。その結果、セグメント売上高は3,130百万円（前年同期比10.1%減）となりました。原料価格は上昇いたしました。生産効率の向上等コストダウンに努めました。また生産休止中の固定費等を特別損失に振り替えたため、セグメント利益は469百万円（前年同期比72.2%増）と増益となりました。

物流関連事業では、新規顧客の開拓を進め、セグメント売上高は2,724百万円（前年同期比6.4%増）と増収となりました。しかし既存業務の単価が厳しく、また新規受注に伴う先行投資の負担が大きかったため、セグメント利益が124百万円（前年同期比26.9%減）となりました。

ニューガラス関連事業では、主力のプラズマテレビ用粉末ガラスは軟調に推移いたしました。平成22年7月に完全子会社化した山村フォトニクス株式会社の売上が寄与し、セグメント売上高は1,559百万円（前年同期比72.1%増）と大幅な増収となりました。しかし粉末ガラスは顧客の価格低減要請が厳しく、セグメント利益は197百万円（前年同期比16.4%減）と減益となりました。

その他事業では、商社部門の売上は堅調に推移いたしました。エンジニアリング事業では価格競争が厳しく販売減少となり、セグメント売上高は2,125百万円（前年同期比5.3%減）、セグメント利益は19百万円（前年同期比33.0%減）となりました。

以上の結果、当第1四半期連結累計期間の連結売上高は19,022百万円（前年同期比1.0%増）と増収となり、連結営業利益は1,158百万円（前年同期比24.9%増）と増益となりました。また持分法による投資利益は132百万円（前年同期比35.9%減）となりましたが、連結経常利益は1,298百万円（前年同期比23.6%増）と増益となりました。

また特別損失には東日本大震災関連として災害による損失128百万円を計上いたしました結果、連結四半期純利益は792百万円（前年同期比25.8%増）となりました。

(2) 連結業績予想に関する定性的情報

平成24年3月期における第2四半期連結累計期間および通期の業績予想につきましては、平成23年5月11日に公表しました業績予想に変更はありません。

2. サマリー情報（その他）に関する事項

該当事項はありません。

3. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成23年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成23年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	12,106	11,084
受取手形及び売掛金	19,189	21,782
商品及び製品	5,763	5,846
仕掛品	380	423
原材料及び貯蔵品	2,026	2,025
その他	1,676	1,486
貸倒引当金	△33	△34
流動資産合計	41,109	42,613
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	11,206	11,014
機械装置及び運搬具（純額）	8,612	8,076
工具、器具及び備品（純額）	859	788
土地	11,319	11,319
建設仮勘定	241	327
有形固定資産合計	32,239	31,526
無形固定資産		
投資その他の資産	430	434
投資有価証券	2,556	2,586
関係会社株式	14,459	14,958
その他	3,997	3,999
貸倒引当金	△70	△60
投資その他の資産合計	20,943	21,484
固定資産合計	53,613	53,444
資産合計	94,722	96,058

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成23年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成23年6月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	7,209	7,860
短期借入金	5,053	4,458
未払法人税等	182	232
引当金	971	374
その他	4,094	4,671
流動負債合計	17,510	17,596
固定負債		
社債	1,000	1,000
長期借入金	17,380	17,780
退職給付引当金	3,549	3,454
特別修繕引当金	3,915	4,056
その他	471	486
固定負債合計	26,317	26,777
負債合計	43,827	44,374
純資産の部		
株主資本		
資本金	14,074	14,074
資本剰余金	17,300	17,300
利益剰余金	25,665	26,090
自己株式	△1,218	△1,218
株主資本合計	55,823	56,247
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	△28	△11
繰延ヘッジ損益	23	5
為替換算調整勘定	△4,966	△4,599
その他の包括利益累計額合計	△4,971	△4,605
少数株主持分	43	42
純資産合計	50,894	51,684
負債純資産合計	94,722	96,058

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
(四半期連結損益計算書)
(第1四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 平成22年4月1日 至 平成22年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 平成23年4月1日 至 平成23年6月30日)
売上高	18,826	19,022
売上原価	14,735	14,924
売上総利益	4,090	4,098
販売費及び一般管理費	3,162	2,939
営業利益	927	1,158
営業外収益		
受取利息	1	1
受取配当金	44	51
持分法による投資利益	206	132
その他	50	104
営業外収益合計	302	289
営業外費用		
支払利息	94	86
租税公課	33	31
その他	51	31
営業外費用合計	180	149
経常利益	1,050	1,298
特別利益		
投資有価証券売却益	8	—
特別利益合計	8	—
特別損失		
災害による損失	—	128
固定資産廃棄損	3	25
特別損失合計	3	154
税金等調整前四半期純利益	1,055	1,144
法人税、住民税及び事業税	156	268
過年度法人税等	—	△120
法人税等調整額	268	202
法人税等合計	424	350
少数株主損益調整前四半期純利益	631	794
少数株主利益	1	1
四半期純利益	629	792

(四半期連結包括利益計算書)
(第1四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年6月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益	631	794
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△173	17
繰延ヘッジ損益	△4	△18
持分法適用会社に対する持分相当額	583	366
その他の包括利益合計	405	365
四半期包括利益	1,037	1,159
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	1,036	1,158
少数株主に係る四半期包括利益	0	1

(3) 継続企業の前提に関する注記
該当事項はありません。

(4) セグメント情報等
〔セグメント情報〕

I 前第1四半期連結累計期間（自平成22年4月1日 至平成22年6月30日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント					その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期 連結損益 計算書 計上額 (注) 3
	ガラス びん関 連事業	プラス チック 容器関 連事業	物流関 連事業	ニュー ーガラ ス関 連事業	計				
売上高									
外部顧客への売上高	9,633	3,481	2,560	906	16,581	2,244	18,826	—	18,826
セグメント間の内部 売上高又は振替高	724	296	3,562	1	4,585	101	4,686	△4,686	—
計	10,358	3,777	6,123	907	21,167	2,346	23,513	△4,686	18,826
セグメント利益	360	272	170	236	1,039	29	1,069	△141	927

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、当社エンジニアリング事業や子会社の一部を含んでおります。

2. セグメント利益の調整額△141百万円には、セグメント間取引消去30百万円、各報告セグメントに配分していない全社費用等△171百万円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費です。

3. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

II 当第1四半期連結累計期間（自平成23年4月1日 至平成23年6月30日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント					その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期 連結損益 計算書 計上額 (注) 3
	ガラス びん関 連事業	プラス チック 容器関 連事業	物流関 連事業	ニュー ーガラ ス関 連事業	計				
売上高									
外部顧客への売上高	9,483	3,130	2,724	1,559	16,896	2,125	19,022	—	19,022
セグメント間の内部 売上高又は振替高	699	372	3,095	2	4,169	112	4,281	△4,281	—
計	10,182	3,502	5,819	1,561	21,066	2,237	23,304	△4,281	19,022
セグメント利益	356	469	124	197	1,148	19	1,167	△9	1,158

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、当社エンジニアリング事業や子会社の一部を含んでおります。

2. セグメント利益の調整額△9百万円には、セグメント間取引消去28百万円、各報告セグメントに配分していない全社費用等△37百万円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費です。

3. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。

(6) 追加情報

(会計上の変更及び誤謬の訂正に関する会計基準等の適用)

当第1四半期連結会計期間の期首以後に行われる会計上の変更及び過去の誤謬の訂正より、「会計上の変更及び誤謬の訂正に関する会計基準」(企業会計基準第24号 平成21年12月4日)及び「会計上の変更及び誤謬の訂正に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第24号 平成21年12月4日)を適用しております。